

TMS 電話帳トラブルシューティング ガイド

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[背景説明](#)

[TMS 電話帳ディレクトリ](#)

[グローバルディレクトリ](#)

[Corporate Directory](#)

[システム 電話帳型](#)

[TMS 電話帳のために使用されるポート](#)

[エンドポイント 電話帳 サーバコンフィギュレーション](#)

[Webインターフェイスとアドレスを確認して下さい](#)

[セキュア シェル \(SSH\) とアドレスを確認して下さい](#)

[エンドポイント DNS 設定をチェックして下さい](#)

[SSH と DNS 設定をチェックして下さい](#)

[Webインターフェイスと DNS 設定をチェックして下さい](#)

[電話帳サービスが到達可能だったかどうか確認して下さい](#)

[TMS 電話帳および電話帳 出典](#)

[連絡先および電話帳がシステムで設定 されることを確認して下さい](#)

[連絡先を確認して下さい](#)

[Jabber および電話帳](#)

[アクセス制御](#)

[提供設定](#)

[重複した2つのエントリ](#)

[電話帳 ルーティング](#)

[401 不正- IIS を解決して下さい](#)

[正常な電話帳クエリ](#)

[IIS 設定をチェックして下さい](#)

[ネットワーク キャプチャを使用して下さい](#)

[Wireshark の電話帳データを分析して下さい](#)

概要

この資料に Cisco TelePresence Management Suite (TMS) 電話帳で異なる問題を解決する方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco TMS
- Cisco TelePresence エンドポイント
- Microsoft Internet Information Services (IIS)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco TMS バージョン 14.x
- Cisco TelePresence C40

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

関連製品

このドキュメントは、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- Cisco TelePresence エンドポイント MX シリーズ、C シリーズ、SX シリーズ、EX シリーズ
および MXP s
- Cisco Jabber Video for TelePresence (Movi)

背景説明

TMS 電話帳はどのプロトコルがに基づいて Microsoft Windows サーバの IIS で HTTP または HTTPS の使用 有効になるかとアクセス可能です。システムは TMS に電話帳 (社内 ディレクトリ) を得るために追加する必要があります。より新しいシステムに関しては、電話帳検索はライブ通信であり、データはシステムで保存されません。TMS はアップであり、電話帳がはたらくことができるように接続を許可する必要があります。

TMS 電話帳ディレクトリ

グローバルディレクトリ

グローバルディレクトリはエントリが遠隔制御装置で変更することができないコーデックで保存されるファイルです。ファイルは Cisco TMS の 1 つ以上の電話帳を定期講読するすべてのエンドポイントに HTTP/HTTPs によって送信されます。複数の電話帳は 1 冊の電話帳にマージされま

す。それらは 400 以上のエントリが含まれている場合、最初の 400 だけがエンドポイントで示されています。

ファイルは**管理ツール > 設定 > 全般設定 > 電話帳 アップデート 周波数フィールド**で設定される間隔のエンドポイントに送信されます。

これは **globdir.prm** (MXP's、Tandberg クラシック) をサポートするエンドポイントでだけ動作します。

Corporate Directory

社内 ディレクトリはエンドポイントが毎回エンドポイントの電話帳 ボタンが押されるサーバから電話帳を直接取得するようにする Cisco TMS サーバの XML サービスです。それは各エントリの電話帳および複数の電話番号の階層を可能にします。社内 ディレクトリはまた捜せます。

システム 電話帳型

管理ツール > 設定 > 全般設定へのナビゲート システム 電話帳型を選択するため。できます:

- 中央集中型 TMS 電話帳だけを使用して下さい (団体電話帳)
- 使用して下さい中心にされ、ダウンロードされた電話帳 (両方とも)
- システムだけにダウンロードされるグローバル な 電話帳を使用して下さい (グローバル な 電話帳)

Cisco はダウンロードされた電話帳がレガシー TANDBERG エンドポイントによってだけサポートされるので団体電話帳または両方とも選択することを推奨します。

社内 ディレクトリ ライブ検索失敗がもしグローバルディレクトリを使用できるようにするデフォルト設定は両方です。

TMS 電話帳のために使用されるポート

エンドポイントはポート 80 (HTTP) またはポート 443 (HTTPS) との TMS 電話帳サービスにアクセスします。これらのポートがパスにあるかもしれないネットワークファイアウォールおよび Microsoft Windows サーバ ファイアウォールで許可されることを確認して下さい。

エンドポイント 電話帳 サーバコンフィギュレーション

システムが TMS に追加されれば、フィードバック アドレス、外部管理アドレスおよび電話帳アドレスが含まれている一組の管理設定を受け取る必要があります。システムのアドレスはシステムの Web インターフェイスから、xAPI (xConfiguration //phonebook)、またはシステムのユーザインターフェイスから確認することができます。

エンドポイントに押し出されるアドレスは設定されるものによって**管理ツール > 設定 > 内部 LAN**のシステムの高度なネットワーク設定の下のネットワーク設定の TMS で確認されます。**TMS サーバ IPv4 Address** フィールドが設定されればおよび **TMS サーバ 完全修飾 Hostname**フィールドが空なら、IP アドレスは使用されます、フィールドが両方ともデータ入力されれば、完全修飾ド

メイン名 (FQDN) は好まれ、使用されます。

電話帳 URL をチェックするとき、<TMSaddress> が FQDN または IP アドレスである場合注意することは重要です。それが FQDN である場合、エンドポイントはまた設定される有効な Domain Name Server (DNS) がなければなりません。DNS がエンドポイントで設定されない場合、電話帳を取得するために FQDN を解決することはできません。DNS を確認するためにステップについてはチェック エンドポイント DNS コンフィギュレーションセクションを参照して下さい。

注: IP アドレスが正しいことを確かめて下さい。時々顧客は 1 サーバから別のものに最近 TMS を移動してしまいました、彼らに別のラボ TMS があります、または不正な TMS はあるかもしれません。

Webインターフェイスとアドレスを確認して下さい

エンドポイントの Webインターフェイスの中では、**Configuration > System 設定 > 電話帳サーバ** にナビゲートして下さい。電話帳設定が正しいことを確認して下さい。何よりも大事なことは、URL はこの形式を一致する必要があります: `http://<TMSaddress>/tms/public/external/phonebook/phonebookservice.asmx`。

セキュア シェル (SSH) とアドレスを確認して下さい

ここに SSH とアドレスをどのように確認するかです:

```
xConfiguration //phonebook
*c xConfiguration Phonebook Server 1 ID: "default"
*c xConfiguration Phonebook Server 1 Type: TMS
*c xConfiguration Phonebook Server 1 URL: "http://<TMSaddress>/tms/public/external/
phonebook/phonebookservice.asmx"
```

エンドポイント DNS 設定をチェックして下さい

SSH と DNS 設定をチェックして下さい

Webインターフェイスと DNS 設定をチェックして下さい

エンドポイントの Webインターフェイスの中では、**Configuration > System 設定 > ネットワーク** にナビゲートして下さい。

ヒント : TMS FQDN を使用するために電話帳サーバアドレスが設定される場合可能性のある DNS 問題の除外を助けるべき TMS サーバの IP アドレスであるためにこれを修正できません。

電話帳サービスが到達可能だったかどうか確認して下さい

ユーザ PC から、これらのステップを完了して下さい:

1. エンドポイントの中では、**Configuration > System 設定 > 電話帳サーバ**にナビゲートし、エンドポイントで設定される TMS 電話帳 URL をコピーして下さい。
2. ブラウザウィンドウに URL を貼り付けて下さい。

イメージで示されているページを見る場合電話帳サービスが到達可能であることを意味します。このページを見ない場合、テストするコンピュータにアドレスにアクセスするネットワーク制限がないことを確認して下さい。

不正の見る場合、この資料で更に説明されている IIS においての問題があるかもしれません。

エンドポイントのルートから、入力して下さい: `http:// <TMS IP アドレス>/tms/public/external/phonebook/phonebookservice.asmx` をコールして下さい

TMS 電話帳および電話帳 出典

すべての TMS 電話帳は電話帳 出典の構築されます。

電話帳に > 電話帳 出典を管理するためにどうにかして電話帳 出典を行って下さい。

現在 TMS 電話帳 出典はから成っています:

- Cisco TMS エンドポイント
- 手動リスト
- Active Directory
- H.350 ディレクトリおよび H.350 ユーザ ディレクトリ
- ファイル ベース 電話帳
- ゲートキーパー
- 他の TMS 電話帳
- Cisco TMS プロビジョニング ディレクトリ
- システム 地域電話本
- Cisco は Cisco Unified CM を TMS 管理しました

電話帳 出典が作成されたら、電話帳にそれを接続します。ために出典を接続する電話帳は電話帳デバイスで設定されるです。複数の電話帳 出典に複数の電話帳を接続できます

連絡先および電話帳がシステムで設定 されることを確認して下さい

連絡先を確認して下さい

電話帳 出典をチェックし、連絡先および連絡先メソッドがあることを確認して下さい。

電話帳が電話帳 出典に接続される確認し、同じ連絡先および連絡先メソッドがあることを確認して下さいことを。 ために出典を接続する電話帳は電話帳 デバイスで設定 されるです。

注: 読み込まれるものが電話帳でエンドポイントおよび Jabber は、ない電話帳 出典見ます。 2 間の違いのためにアラートでであって下さい。

システムで設定 される 電話帳

電話帳をシステムで設定 されるために確かめて下さい。 電話帳に > 管理します電話帳を > 選択し、電話帳をシステムで『Set』 を選択 します行って下さい。

システムのリストは指定システムの下で右で現われます。

Jabber および電話帳

注: Jabber は電話帳を受け取るために認証する必要があります。 それが登録するゾーンは認証されるようにチェック 資格情報または使用例である必要があります。

Jabber ユーザはビデオ コミュニケーション コミュニケーション・ サーバ (VCS) Control およびない TMS によって電話帳を受け取ります。

アクセス制御

Jabber は電話帳にそれを検索するためにアクセスコントロールを与える必要があります。

トップレベルがチェックされても、それを拡張し、中段がチェックされることを確認して下さい。 新規 ユーザだけ電話帳を受け取らない場合、それは可能性のあるですアクセスコントロール タブの中でチェックされない新しいグループの一部です。

提供設定

1. TMS システム > プロビジョニング > Users では、ビデオ アドレス パターンが設定されることを確認して下さい。
2. Jabber ユーザに割り当てられる電話帳 サーバ URI 設定があるようにコンフィギュレーション テンプレートを確認して下さい。

重複した2つのエントリ

接続された出典が同じ Phone Book Entry が含まれている場合これによりクライアントと重複した2つのエントリはエンドポイントでまたは Cisco Jabber Video for TelePresence (Movi) 現われ

ます場合があるので単一 電話帳に複数の電話帳を接続する場合用心深くであって下さい。

電話帳 ルーティング

いくつかのエンドポイントが他のエンドポイントで見られるいくつかの Phone Book Entry を得なかったらこの設定を理解しておいて下さい。

管理ツール > 設定 > 全般設定では、ルート Phone Book Entry と呼ばれる設定があります。YES はデフォルト設定です、つまりそれらがダイヤルすることができることをエンドポイント ディスプレイ アドレスだけ意味します。たとえば、H.323 だけエンドポイントで、ISDN 番号および Session Initiation Protocol (SIP) アドレスは表示する。エンドポイントがダイヤル機能に関係なく電話帳のすべてのアドレスおよび数を表示することを意味しません。

401 不正- IIS を解決して下さい

もっとも一般的な 電話帳問題の 1 つは IIS でミスコンフィギュレーションによって引き起こされています。匿名認証はエンドポイントのための IIS のパブリック フォルダのために電話帳を取得するために有効にする必要があります。これが有効にならない場合、エンドポイントはによって提供することができない認証のために挑戦されます。

エンドポイントがエンドポイントに認証、SSH および xcommand 電話帳検索電話帳型が付いている電話帳のクエリのために挑戦されたかどうか確認するため: 団体。エンドポイントが認証のために挑戦される場合、このイメージに見られるように「<Authentication fail>」が (HTTP code=401) 表示されます。

正常な電話帳クエリ

IIS 設定をチェックして下さい

1. TMS サーバのリモート デスクトッププロトコル (RDP) セッションを開いて下さい。
2. [IIS マネージャ](#)を開いて下さい。
3. デフォルト の Webサイトを拡張して下さい。
4. TMS を拡張して下さい。
5. パブリックを選択して下さい。
6. 選択して下さい

7. まだあっていない場合匿名認証が有効になる確認し、有効にして下さいことを。

ネットワーク キャプチャを使用して下さい

Wireshark の電話帳データを分析して下さい

電話帳検索は TMS が応答という結果ににん答し、検索を終る含まれている TMS がの電話帳サービスに検索要求からすべてがはたらく場合開始します。

エンドポイントが tcpdump をサポートする場合 TMS サーバまたはエンドポイントのトレースを実行できます。トレースが Web インターフェイスによってまたはユーザインターフェイスから電話帳を実行し、アクセスするようにして下さい。検索要求が TMS サーバで入るのを見るはず

です。
TMS サーバからの応答は 200 OK であるはず。受け取る別のメッセージに基づいてさもなければ解決できます。